

# しが「読み解く力」～実践編～ 【中学校 総合的な学習の時間】

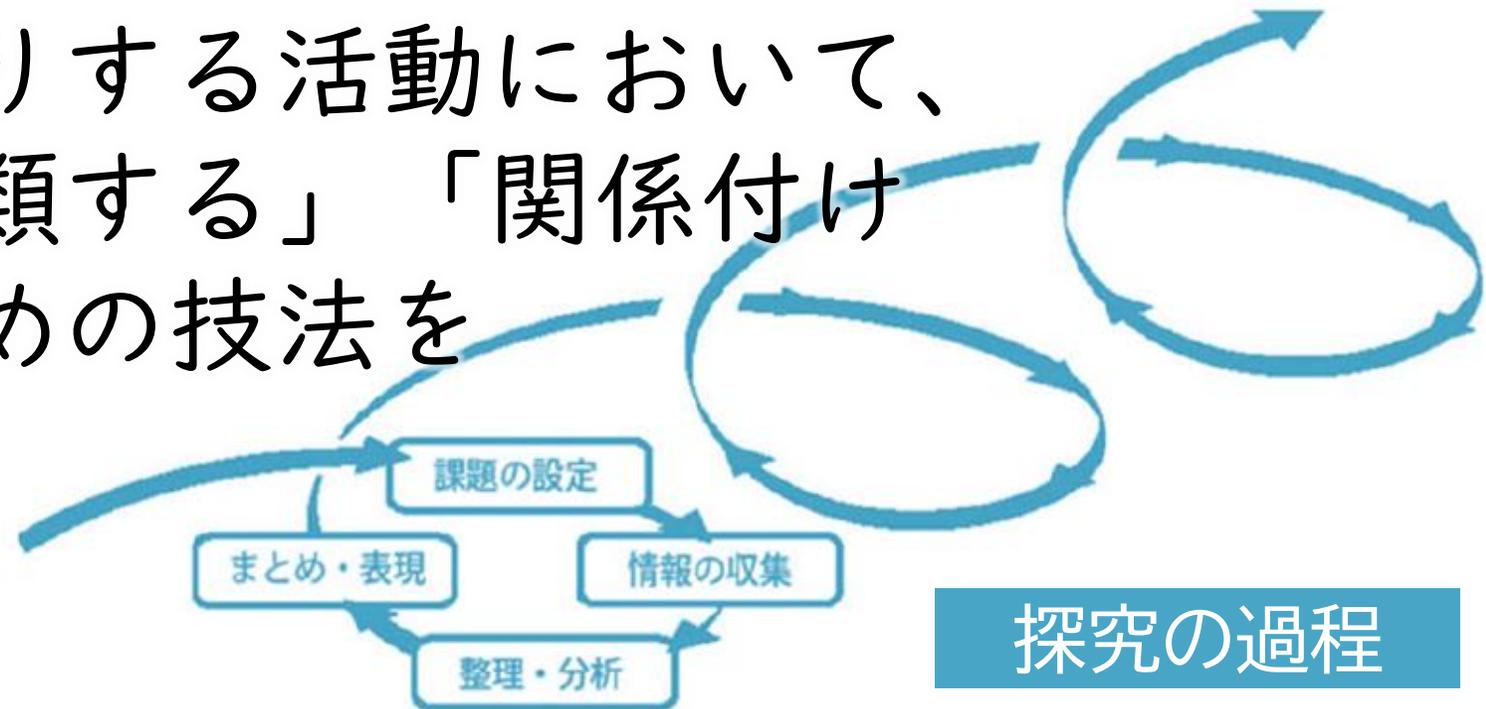
- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 【中学校：総合的な学習の時間】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる  
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

◇収集・蓄積した情報を整理・分析したり、  
まとめ・表現したりする活動において、  
「比較する」「分類する」「関係付け  
る」等の考えるための技法を  
活用するよう工夫  
しているか。



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



# 単元名 「人はなぜ働くのだろうか？」

(中学校第2学年)

～仕事を通して自己の生き方を考える～

地域の仕事や、その仕事に取り組む人々に関する探究的な学習を通して、働くことの意味と自分自身の生き方との関わりに気付き、働くことの意味を自分との関わりで考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにする。



※ 総合的な学習の時間は、第1の目標を踏まえ、各学校が目標や内容を適切に定める。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## I 働くことの意味を考えよう【15時間】

- ・働くことの意味について、自分と大人の考えとの違いから課題を設定する。
- ・身近に働く人から手に入れた情報から、働くことの意味を考える。
- ・全体共有で感じた疑問点をグループで共有し、今後の活動の見通しをもつ。

## II 実際に働き、自己の生き方を考えよう【30時間】

- ・疑問点をまとめ、課題として設定するとともに、職場体験学習の計画を立てる。
- ・個別の疑問に応じた情報収集を行い、その分析結果を、相手意識を明確にしてまとめる。
- ・実際に働くことを通して考えた自己の生き方について発表する。

## (1)課題の設定

自分で考えた働くことの意味と、実際に働いている人が考える働くことの意味には違いがあることに気付く。職場体験学習をする事業所を決定し、事業種ごとに働くことの意味を探る計画を立てる。

## (2)情報の収集

事業所にインタビュー(兼事前訪問)をしたり、保護者や地域へのアンケートを実施したりして、情報を集める。

## (3)整理・分析

調査活動によって得た情報をもとに、働くことの意味について考える。インタビューやアンケートで得られた情報を伝えたいことに即して分類したり、表現したりする。

## (4)まとめ・表現

整理した情報をまとめ、学級全体で共有し、疑問点から今後の活動の見通しをもつ。



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 **本時の目標**
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

調査活動によって得られた情報を基に、働くことの意味について考え、収入を得るため以外にも、働くことの意味について新たな視点に気付くことができる。



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



### (1)課題を見つける

### (2)見通しをもつ

調査活動によって得られた情報を基に、働くことの意味について考えることを確認する。

### (3)自分で考える

働くことの意味について、調査活動から得られた情報をウェビングマップに表現し、整理・分析する。

### (4)共に学び合う

各自のウェビングマップをグループで交流する。

### (5)学習をまとめる

働くことの意味について、ワークシートにまとめる（記述）。

課題発見・解決のプロセス      課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

- ・ 働くことの意味についてのアンケートやインタビューを行い、必要な情報を収集する姿。（① 前時まで）



- ・ 調査活動から得た情報を整理・分析しながら、働くことの意味について考える姿。（A②）
- ・ ウェビングマップをグループ交流で交流し、働くことの意味について考える姿。（B②）
- ・ 働くことの意味について、新たな視点を見付ける姿。（A③・B③）

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



# ①必要な情報を確かに取り出す

A・文章や図、グラフ

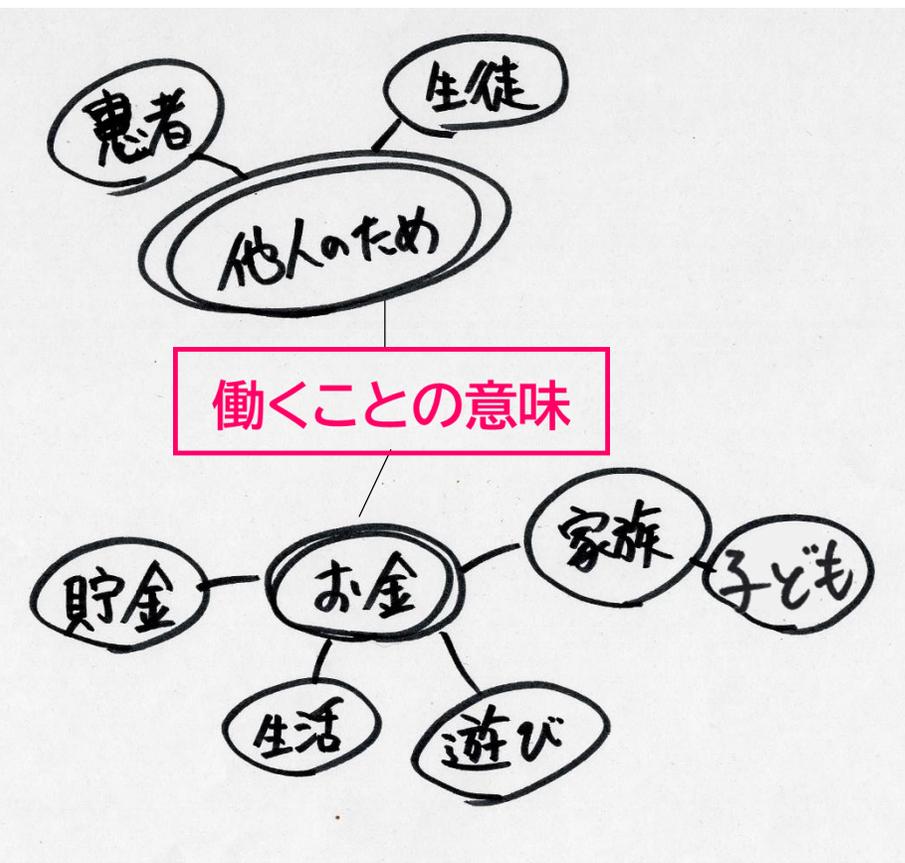
資質・能力

③再構築

②分析・整理

①発見・蓄積

B・他者とのやりとり



働く理由は、お金をもらうためだと思います。  
お金がないと・・・



## 目的意識

働くことの意味って？  
実際に働いている人は  
どう考えているのかな？

必要な情報を、調査する対象に応じた適切な方法で収集する。

情報収集の手段を生徒自ら選択

# ②情報を比較し、関連付けて整理する

資質・能力

③再構築

②分析・整理

①発見・蓄積

A・文章や図、グラフ

B・他者とのやりとり

## ウェビングマップ



分類する・関連付ける

### 考える？

順序立てる	理由付ける
比較する	見通す
分類する	具体化する
関連付ける	抽象化する
多面的に見る 多角的に見る	構造化する

可視化

### 思考ツール

考えるための技法

# ③自分なりに解決し、知識を再構築する



インタビューやアンケートから、働く理由は「お金のため」「他人のため」「**自分のため**」「地域のため」の4つであることが分かりました。一番意外だったのが、「自分のため」という意見です。今度職場体験で行く事業所の方も、「自分の技術をさらに高めたい」と話していました。また、「他人のため」とは学校の先生とかしか考えていませんでしたが、農家の方が「この果物を食べてくれる人のため」と言っていて、直接会わない人も含まれるんだと思いました。

調査活動前の考え



情報

調べた内容と結果、自分の考察を関連付けて、



新たな視点に  
気付く

「働くことの意味」について自分の考えをまとめ、表現する。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 【本時で身に付けたい資質・能力】

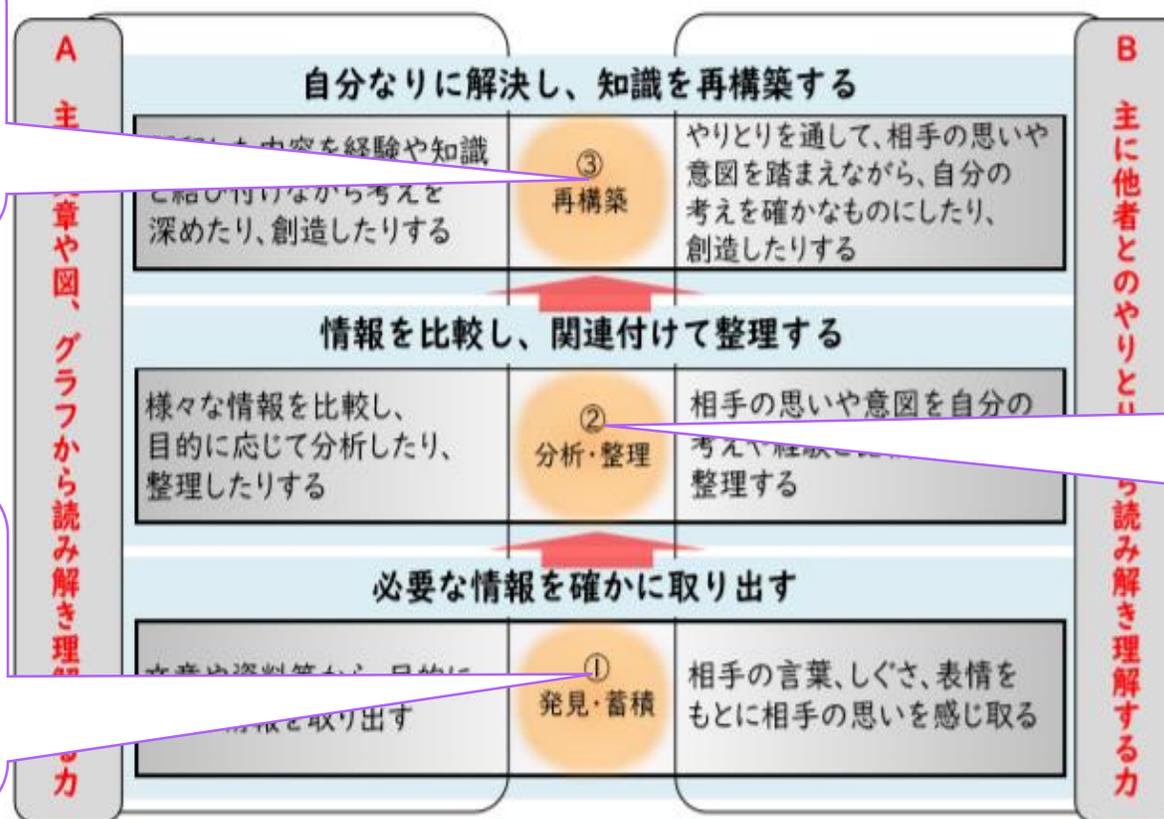
調査活動によって得られた情報を基に、働くことの意味について考え、収入を得るため以外にも、働くことの意味について新たな視点に気付くことができる。

## 【まとめ・表現】

気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

## 【情報の収集】

目的に照らして、「調べる内容」と「対象」に応じた「方法」を考える。



## 【整理・分析】

収集した情報を整理したり、分析したりして思考する。

## 【課題の設定】

体験活動などを通して、課題を設定し、課題意識をもつ。

目的意識